\bigcirc 国経 土 済 ·交通省· 令 令 第 号

 \mathcal{U} 第三 建 築 $\overline{+}$ 物 条 \mathcal{O} 第 工 ネ 項 ル 第 ギ 号 消 \mathcal{O} 費 規 性 定 能 に \mathcal{O} 基 向 づ 上 き、 に 関 建 す 築 る 物 法 律 エ ネ 平 ル ギ 成 +消 費 七 性 年 能 法 基 律 準 第 等を定める 五. 十三号)第二条 省令を次 第三 \mathcal{O} 号及

]

ょ う

に 定 8 る。

平 成二十八年一月二十 九 日

済 産 業 大 臣 林 幹雄

経

玉 土 交 通 大 臣 石 井 啓

建 築 物 エ ネ ル ギ 消 費性 能基準等を定める省令

目 次

第 章 建 築 物 工 ネ ル ギ 消 費 性 能 基 準 第 条 第 七

条)

第 章 住 宅 事 業 建 築 主 \mathcal{O} 新 築 す る 戸 建 7 \mathcal{O} 住 宅 \mathcal{O} エ ネ ル ギ 消 費 性 能 \mathcal{O} 層 \mathcal{O} 向 上 \mathcal{O} た 8) に 必

要 な 住 宅 \mathcal{O} 構 造 及 び 設 備 に 関 す る 基 準 第 八 条 第 九 条)

第三 章 建 築 物 \mathcal{O} 工 ネ ル ギ] 消 費 性 能 \mathcal{O} 向 上 \mathcal{O} 層 \mathcal{O} 促 進 0 た めに誘導 すべ き基準 第十 · 条 第十

三条)

附 則

第 章 建 築 物 工 ネ ル ギ 消 費 性 能 基 潍

(建築物エネルギー消費性能基準)

各

号

に

定

8

る

基

準

と

す

る

第 済 産 条 業 省 建 令 築 物 玉 \mathcal{O} 土 工 交 ネ 涌 ル ギ 省 令 で 消 定 費 \Diamond 性 る 能 基 \mathcal{O} 準 向 は 上 に 関 次 す \mathcal{O} る 各 号 法 に 律 撂 以 げ 下 る 建 法 築 物 と \mathcal{O} 1 区 う。 分 に 応 第二 じ、 条 そ 第三 れ ぞ 号 れ 当 \mathcal{O} 経 該

る 適 建 複 イ 合 切 又 築 非 لح に 住 は 物 建 が 評 を 築 宅 口 物 1 部 確 価 \mathcal{O} う。 分 で 1 か き ず 非 \Diamond 法 る 5 以 住 れ 第 下 宅 れ 方 か 法 に 部 た 同 +لح じ 分 場 適 合 認 合 及 条 す び 第 に \Diamond る る を 住 お 方 ŧ 宅 項 1 除 く。 7 法 \mathcal{O} 部 に で に は 分 規 あ 第 ょ 定 る + 同 す 0 こと。 7 条 る \mathcal{O} 項 非 非 第 限 に 住 住 り 規 号 で 宅 た 定 宅 だ な に す 部 部 る 1 分 L お 分 住 を が 1 宅 備 玉 て 1 う。 部 え 土 _ 交 る 非 分 ベ 通 住 を 以 き 下 大 宅 1 う。 工 臣 建 同 ネ $\overset{\text{\tiny Γ}}{\smile}$ が 築 以 ル 工 物 下 ギ ネ کے ル 同 を 消 じ 有 ギ 1 う。 費 す る 性 消 を 費 建 能 を 性 有 築 有 能 次 す 物 す を \mathcal{O} る

ギ 量 五 ル に + ギ 非 換 兀 消 住 消 費 宅 年 算 費 量 法 部 L 量 た 律 分 $\widehat{}$ 第 \mathcal{O} ŧ 床 几 年 設 \mathcal{O} 間 を 計 面 十 積 1 九 に 号) う。 消 次 設 費 工 第 す ネ 備 以 等 る 下 ル 条 ギ \mathcal{O} 同 工 ネ 条 じ 第 件 ル 消 に 項 費 ギ ょ に 量 を り 規 1 定 実 う。 定 工 ま ネ 際 す る 以 る ル \mathcal{O} 設 ギ 下 工 基 計 ネ 同 準 ľ ル \mathcal{O} 仕 غ ギ 様 使 な 用 \mathcal{O} る が 条 を \mathcal{O} 合 件 1 う。 次 を 非 理 基 工 住 化 ネ に 宅 以 等 算 ル 部 下 に ギ 関 定 分 同 じ 1 \mathcal{O} す 消 た 基 る 費 準 法 量 \mathcal{O} 律 次 を 次 量 工 ネ 1 工 を 昭 う ネ 熱 和 ル

イ

。以下同じ。)を超えないこと。

口 準 に 応 以 ___ 非 次 下 U 住 7 宅 工 同 ネ U 部 次 ル 分 ギ 工 \mathcal{O} ネ \mathcal{O} 用 消 設 途 ル 費 計 ギ لح 量 同 ___ を 次 消 超 費 工 \mathcal{O} え 用 ネ 量 な ル \mathcal{O} 途 7 ギ 算 \mathcal{O} こと。 出 消 に 次 費 用 工 ネ 量 11 が る ル ギ ベ 当 き 標 該 消 費 準 量 次 的 工 な 七 ネ 建 デ 築 ル ル ギ 物 建 で 築 消 あ 物 費 る 量 لح 玉 認 七 土 交 デ 8 る ル 通 大 建 Ł 築 臣 \mathcal{O} 物 を が 用 \mathcal{O} 11 基 う 途

価 \mathcal{O} 住 で イ き 宅 及 る び 部 方 分 口 法 12 を と 適 有 認 合 す す \Diamond る る る 建 方 ŧ) 築 法 物 \mathcal{O} に で 複 ょ あ ること。 合 0 7 建 築 住 宅 物 部 た を だ 除 分 Ļ が く。 備 え 玉 第 る 土 + ベ 条 交 き 通 第 大 エ 号 ネ 臣 が に ル ギ 工 お ネ 1 7 消 ル ギ 費 性 住 能 消 宅 費 を 有 لح 性 す 能 1 う。 ること を 適 切 が に 次 確 評

1 次 \mathcal{O} (1)又 は (2) \mathcal{O} 1 ず れ カン に 適 合 す ること。

(1)

か

8

5

れ

た

場

合

に

お

1

7

は

ک

 \mathcal{O}

限

り

で

な

1

熱 じ す 11 れ る 損 場 5 玉 部 合 12 失 土 分 \mathcal{O} 量 に 類 交 を 通 す 外 あ を 除 皮 1 る 大 0 う。 く。 亚 7 建 臣 は、 築 均 が 以 熱 物 定 下 屋 を 貫 \Diamond \mathcal{O} (1)根 外 る 部 流 に 率 分 皮 方 法 お を 単 壁、 外 に 1 1 う。 7 気 位 ょ 等 同 り 床 住 じ 及 算 戸 外 12 出 び \mathcal{O} 開 接 気 内 L た \mathcal{O} \Box す 又 外 面 部 る は \mathcal{O} 単 積 外 温 位 並 天 で び 井 気 度 住 除 差 に 12 戸 当 L 小 通 た 度 住 屋 U 該 当 る 宅 数 単 裏 値 位 床 た 部 又 裏 分 を Ŋ 住 は 1 戸 天 \mathcal{O} \mathcal{O} う。 以 総 井 小 熱 外 裏 屋 \mathcal{O} 以 裏 損 住 \mathcal{O} が 下 建 外 失 戸 (1)を 築 気 天 量 12 物 井 に 1 う。 換 裏 お 通 \mathcal{O} 気 そ 1 部 U て 分 7 \mathcal{O} に 以 同 に 1 他 ょ 下 U 接 な る 同

掲げ 下 (1) 外皮 る 及び \mathcal{O} に 地 面 お 冷 域 積 1 房 \mathcal{O} に て 期 区 ょ 同 r. り 分に応じ、 $\widehat{}$ 加 年 重平 . 間 \mathcal{O} 0 均 亚 うち それぞれ L 均 た 日 数 一日 射 値 熱 同 を 取 \mathcal{O} いう。 最 表 得 \mathcal{O} 率 高 中 気 日 欄 以 温が二十三度以上となる全て 及 下 射 公び下欄 (1) 量 に に 対 お に する **(**) · 掲 て 室内 同 げる数値以下であること。 じ。 に 侵 入す が Ź 0 次 \mathcal{O} 日 期 間 表 射 を \mathcal{O} 量 いう。 上 \mathcal{O} 欄 割 に 合 以 を

11 • 11		八
11 • 七	〇・八七	十
二、八	〇・八七	汁
111 • 0	〇・八七	五.
	〇・七五	四
	〇・五六	[11]
	○・・□	11
	○・・□	
冷房期の平均日射熱取得率	ートル一度につきワット) 外皮平均熱貫流率(単位 一平方メ	地域の区分

(2)住 宅 部 分が 外壁、 窓等を通して 0 熱の 損 失の 防 止 に 関 する国土交通大臣 が定め る基準 に 適

合すること。

ロ 次の①又は②のいずれかに適合すること。

(1)住 宅 部 分 \mathcal{O} 設 計 次 エ ネ ル ギ 消 費 量 が、 住 宅 部 分 \mathcal{O} 基 準 __ 次 工 ネ ル ギ 消 費 量 を 超 え

な

いこと。

(2)住宅部 分が一 次 工 ネル ギ Ì 消費量 に関する国土 交通大臣 が定める基準に適合すること。

複合: 建 築 物 次 \mathcal{O} 1 又 は 口 \mathcal{O} 1 ず れ か **(**法 第 + __ 条 第 項 に 規 定す る特 定 建 築 行 為 会法 附 則 第

一条第 項 12 規定 す る 特 定 増 改 築 を 除 く。 に · 係 る 建 築 物 12 あ 0 て は 1 に 適 合 す る Ł \mathcal{O} で あ

ること。

1 非住 宅部分が第一号に定める基準に適合し、 カゝ ~つ、 住宅部分が前号に定める基準に適 合する

こと

ロ 次の(1)及び(2)に適合すること。

(1)複 合 建 築 物 \mathcal{O} 設 計 --- 次 エ ネ ル ギ] 消 費量 が、 複 合建 築物 0 基準 次 工 ネ ル ギ] 消 費量を超

えないこと。

② 住宅部分が前号イに適合すること。

(早日三郎子二系の安十一尺二スンデー当量量)

2

前

項

第

二号

1

(1)

 \mathcal{O}

地

域

 \mathcal{O}

区

分

は

玉

土

一交通

大

臣

が

別

12

定

 \Diamond

る

ŧ

 \mathcal{O}

とする。

非 住 宅 部 分 に 係 る 設 計 次 エ ネ ル ギ 消 費 量

第二条 前 条 第 項 第 号 イ 0) 非 住 宅 部 分 \mathcal{O} 設 計 次 工 ネ ル ギー 消 費量 一及び同 号 口 0) 次 エネ ル ギ

消 費 量 モ デ ル 建 築 物 \mathcal{O} 設 計 __ 次 工 ネ ル ギ Ì 消 費 量 は 次 \mathcal{O} 式 に ょ いり算 出 L た 数 値 (そ 0) 数 値 に 小 数

点 以 下 位 未 満 \mathcal{O} 端 数 が あ るときは、 れ を 切 り 上 げ る。 とす る。

 $E_T = (E_{AC} + E_V + E_L + E_W + E_{EV} - E_S + E_M) \times 10^{-3}$

の式 に お いて、 E_T、 E_{AC} E_{v} E_{L} $E_{\mathtt{W}}$ E_{EV} E_{S} 及び $E_{\mathtt{M}}$ は、 そ れ ぞれ 次 \mathcal{O} 数 値 を表 すものとす

る。

 $E_{\text{\tiny T}}$ 設 計 次 エ ネ ル ギ] 消 費 量 単 位 年 に 0 きギ ガ ジ ユ ル

 E_{AC} 空気 調 和 設 備 \mathcal{O} 設 計 次 エ ネ ル ギ 消 費 量 単 位 年 に つきメ ガ ジ

ユ

1

ル

 E_{v} 空 気 調 和 設 備 以 外 \mathcal{O} 機 械 換 気 設 備 \mathcal{O} 設 計 次 工 ネ ル ギ] 消 費 量 単 位 年につきメ

ガジュール)

 E_{L} 照 明 設 備 \mathcal{O} 設 計 次 工 ネ ル ギ 1 消 費 量 単 位 年 に 0 きメ ガ ジ ユ ル

 $E_{\mathtt{W}}$ 給 湯 設 備 \mathcal{O} 設 計 次 工 ネ ル ギ 消 費 量 単 位 年 に 0 きメ ガ ジ ユ ル

 E_{EV} 昇 降 機 \mathcal{O} 設 計 次 工 ネ ル ギ] 消 費 量 単 位 年 に 0 き メガ ジ ユ] ル

 E_{S} 工 ネ ル ギ \mathcal{O} 効 率 的 利 用 を 义 ること 0) で きる 設 備 以 下 エ ネ ル ギ 利 用 劾 率 化 設 備

とい に ょ る 設 計 次 エ ネ ル ギ 消 費 量 \mathcal{O} 削 減 量 単 位 年 に つ きメ ガ ジ ユ]

ル

 $E_{\mathtt{M}}$ その 他 次 工 ネ ル ギ] 消 費量 単 位 年 に つきメガ ジ ユ

ル

2

工 昇 ネ 前 降 ル 項 機 ギ \mathcal{O} \mathcal{O} 空 設 気 消 計 調 費 和 量 次 設 照 エ 備 ネ 明 \mathcal{O} 設 ル 設 ギ 備 計 \mathcal{O} 消 設 次 費 計 工 ネ 量 --- 次 ル ギ 工 工 ネ ネ 消 ル ル ギ 費 ギ 量 利 消 空 用 費 気 効 量 率 調 化 給 和 設 湯 設 備 設 備 備 に 以 ょ 外 \mathcal{O} る 設 \mathcal{O} 設 計 機 計 --- 械 次 換 --- 次 気 工 ネ 設 工 ネ 備 ル ギ \mathcal{O} ル 設 ギ 消 計 消 費 費 量 次

非 住 宅 部 分 に 係 る 基 準 --- 次 工 ネ ル ギ] 消 費 量 す

る

量

 \mathcal{O}

削

減

量

及

び

そ

 \mathcal{O}

他

次

エ

ネ

ル

ギ

消

費

量

は

玉

土

交

通

大

臣

が

定

8

る

方

法

に

ょ

り

算

出

す

る

Ł

 \mathcal{O} لح

第三 数点 条 消 費 量 第 干 デ 条 第 ル 建 築 項 物 第 \mathcal{O} 号 基 準 1 \mathcal{O} ときは、 次 非 工 住 ネ 宅 ル 部 ギ 分] \mathcal{O} 消 基 費 準 量 次 は エ る。 ネ 次 ル \mathcal{O} 式 ギ に] ょ 消 り 費 算 量 出 及 び L 同 た 数 号 値 口 \mathcal{O} (そ ___ 次 \mathcal{O} 数 エ 値 ネ に ル ギ 小

 E_{ST} ĺ $(E_{SAC} + E_{SV} +$ $E_{SL} + E_{SW} + E_{SEV} + E_{M}$ $\times 10^{-3}$

以

下

位

未

満

 \mathcal{O}

端

数

が

あ

る

これ

を

切

り

上

一げ

とす

ک 0) 式 に お いて、 E_{ST} E_{SAC} E_{SV} E_{SL} E_{SW} $E_{\text{SEV}} \\$ 及 び E_{M} は、 そ れ ぞ れ ユ 次 \mathcal{O} 数 値 を 表 す ŧ \mathcal{O} とする。

 $E_{\text{SAC}} \\$ E_{ST} 空 基 準 気 調 次 和 工 設 ネ 備 ル \mathcal{O} ギ 基] 準 消 費 次 量 工 ネ 単 ル ギ 位 消 費 年 量 に 0 きギ 単 位 ガ ジ 年 に 0 ル き メ ガ ジ

> ユ

ル

 E_{SV} 空 気 調 和 設 備 以 外 \mathcal{O} 機 械 換 気 設 備 \mathcal{O} 基 準 次 工 ネ ル ギ 消 費 量 単 位 年に つきメ

ガ ジ ユ ル

 E_{SL} 照 明 設 備 \mathcal{O} 基 準 __ 次 工 ネ ル ギ] 消 費 量 単 位 年 に つ きメガジ ユ

ル

 E_{SW} 給 湯 設 備 \mathcal{O} 基 準 ___ 次 エ ネ ル ギ] 消 費 量 単 位 年 に 0 き メ ガ ジ ユ ル

 E_{SEV} 昇 降 機 \mathcal{O} 基 準 ___ 次 工 ネ ル ギ] 消 費 量 単 位 年 12 0 き メ ガ ジ ユ

 E_{M} そ \mathcal{O} 他 次 エ ネ ル ギ 消 費 量 単 位 年 に 0 き メ ガ ジ ユ ル

前 項 \mathcal{O} 空 気 調 和 設 備 \mathcal{O} 基 準 次 工 ネ ル ギ 消 費 量 空 気 調 和 設 備 以 外 \mathcal{O} 機 械 換 気 設 備 \mathcal{O} 基 準 次

2

工 昇 ネ 降 ル ギ 機 \mathcal{O} 基 消 費 準 量 次 照 工 ネ 明 ル 設 ギ 備 \mathcal{O} 消 基 準 費 量 __ 次 及 び 工 そ ネ \mathcal{O} ル 他 ギ 次 消 費 エ ネ 量、 ル ギ 給 湯 消 設 費 備 量 \mathcal{O} 基 は 準 玉 土 次 交 工 通 ネ 大 ル 臣 ギ が 定 消 費 8 量 る

方 法 12 ょ ŋ 算 出 す る t \mathcal{O} لح す る

住 宅 部 分 \mathcal{O} 設 計 __-次 エ ネ ル ギ] 消 費 量

第 兀 条 第 --- 条 第 項 第二 号 口 (1) \mathcal{O} 住 宅 部 分 \mathcal{O} 設 計 次 エ ネ ル ギ] 消 費 量 住 宅 部 分 \mathcal{O} 単 位 住 戸 \mathcal{O} 数

出 が L た で 数 あ 値 る 場 (そ 合 0 に 数 限 値 る。 に 小 数 及 点 び 以 第 下 三 項 位 \mathcal{O} 未 単 満 位 \mathcal{O} 住 端 戸 数 \mathcal{O} が 設 あ 計 るとき 次 工 は、 ネ ル ギ れ を 消 費 切 量 り 上 は げ る。 次 \mathcal{O} 式 とす に ょ る。 ŋ

H $(E_H + E_C + E_V + E_L + E_W$ $-E_S+E_M$ $\times 10^{-3}$

この式 に お *(*) $E_{\underline{\tau}}$ E_H Ec E_{v} Eŗ $E_{\underline{\mathtt{W}}}$ E_{S} 及 75 $E_{\mathtt{M}}$ は そ れ ぞ れ 次 \mathcal{O} 数 値 を 表 す ŧ 0)

る。

 $E_{\text{\tiny T}}$ 設 計 次 エ ネ ル ギ 消 費 量 単 位 年 12 0 きギ ガ ジ ユ ル

 E_{H} 暖 房 設 備 \mathcal{O} 設 計 __ 次 工 ネ ル ギ] 消 費 量 単 位 年 に つ きメガジ ユ

ル

2

前

項

 \mathcal{O}

暖

房

設

備

 \mathcal{O}

設

計

次

エ

ネ

ル

ギ

消

費

量

冷

房

設

備

 \mathcal{O}

設

計

次

エ

ネ

ル

ギ

消

費

量

機

楲

換

気

 $E_{\rm C}$ 冷 房 設 備 \mathcal{O} 設 計 ___ 次 工 ネ ル ギ] 消 費 量 単 位 年 に 0 きメ ガ ジ ユ ル

 E_{V} 機 械 換 気 設 備 \mathcal{O} 設 計 次 工 ネ ル ギ 消 費 量 単 位 年 に 0 き メ ガ ジ ユ] ル

 E_{L} 照 明 設 備 \mathcal{O} 設 計 --- 次 工 ネ ル ギ] 消 費 量 単 位 年 に 0 き メ ガ ジ ユ ル

 E_w 給 湯 設 備 排 熱 利 用 設 備 を含 む。 次 項 に お 1 て 同 じ \mathcal{O} 設 計 次 エ ネ ル ギ 消 量

単位 一年につきメガジュール)

 E_{S} 工 ネ ル ギ 1 利 用 効 率 化 設 備 に ょ る 設 計 次 エ ネ ル ギ 消 費 量 \mathcal{O} 削 減 量 単 位 年 に

つきメガジュール)

 E_{M} そ \mathcal{O} 他 次 工 ネ ル ギ 消 費 量 単 位 年 に 0 きメ ガ ジ ユ ル

ネ 設 備 ル ギ \mathcal{O} 設 消 計 費 次 量 工 ネ 工 ネ ル ギ ル ギ 消 利 費 用 量 劾 率 照 化 明 設 設 備 備 に \mathcal{O} ょ 設 る 計 設 計 次 工 次 ネ 工 ル ネ ギ ル ギ 消 費 量 消 費 量 給 湯 \mathcal{O} 削 設 減 備 量 \mathcal{O} 及 設 計 び そ \mathcal{O} 次 他 工

次 工 ネ ル ギ 消 費 量 は 玉 土 交 通 大 臣 が 定 \Diamond る 方 法 に ょ り 算 出 す る ŧ \mathcal{O} とす る。

3

5 で 単 あ 第 る 位 場 住 条 戸 合 第 以 を 外 除 項 第二 \mathcal{O} 部 分 号 を は 口 1 (1)う。 単 \mathcal{O} 住 位 宅 以 住 下 部 戸 同 \mathcal{O} 分 じ 設 \mathcal{O} 計 設 計 \mathcal{O} 次 __ 設 次 エ 計 ネ 工 ネ ル 次 ギ ル ギ 工 ネ 消 費 ル 消 ギ 費 量 量 \mathcal{O} 消 合 費 計 住 量 宅 لح と 部 共 を 用 分 合 部 \mathcal{O} 計 単 分 位 L た 住 住 数 宅 戸 値 部 \mathcal{O} とす 分 数 \mathcal{O} が う

消

費

量

12

0

1

て

潍

用

す

る。

住 宅 部 分 \mathcal{O} 基 準 次 工 ネ ル ギ 消 費 量

第 が 五. 条 で 第 あ る 場 条 合 第 に 限 項 第 る。 号 及 口 び (1)第 \mathcal{O} 三 住 宅 項 \mathcal{O} 部 単 分 位 \mathcal{O} 住 基 戸 準 \mathcal{O} 基 次 潍 エ ネ ___ 次 ル ギ 工 ネ] ル 消 ギ 費 量 消 費 住 宅 量 は 部 分 次 \mathcal{O} \mathcal{O} 単 式 位 住 に ょ 戸 1) \mathcal{O} 算 数

出 E_{ST} た 数 $(E_{SH} +$ 値 (そ $E_{SC} +$ \mathcal{O} E_{SV}+ 数 値 に E_{SL} 小 数 $E_{SW}+E_{M}$ 点 以 下 X 10^{-3} 位 未 満 \mathcal{O} 端 数 が あ る き は れ を 切 上

لح

り

げ

る

とす

る

L

 \mathcal{O} 式 に お 1 て、 E_{ST} E_{SH} E_{SC} E_{SV} E_{SL} $E_{\scriptscriptstyle SW}$ 及 び $E_{\mathtt{M}}$ は そ れ ぞ れ 次 \mathcal{O} 数 値 を 表 す ŧ \mathcal{O} とする。

 $E_{\text{ST}} \\$ 基 準 次 工 ネ ル ギ 消 費 量 単 位 --- 年 に 0 きギ ガ ジ ユ ル

 E_{SC} E_{SH} 暖 房 設 備 \mathcal{O} 基 準 次 工 ネ ル ギ 消 費 量 単 位 年 に 0 きメ ガ ジ ユ ル

冷

房

設

備

 \mathcal{O}

基

準

次

工

ネ

ル

ギ

]

消

費

量

単

位

年

に

0

きメ

ガ

ジ

ユ

ル

 E_{sv} 機 械 換 気 設 備 \mathcal{O} 基 準 次 工 ネ ル ギ 消 費 量 単 位 年 に 0 き メ ガ ジ ユ] ル

 E_{SL} 照 明 設 備 \mathcal{O} 基 準 --- 次 工 ネ ル ギ 消 費 量 単 位 年 に 0 き メ ガ ジ ユ ル

 E_{SW} 給 湯 設 備 \mathcal{O} 基 準 次 工 ネ ル ギ 消 費 量 単 位 年 に 0 きメ ガ ジ ユ ル

 E_{M} そ \mathcal{O} 他 次 工 ネ ル ギ 消 費 量 単 位 年 に 0 き メ ガ ジ ユ] ル

前 項 \mathcal{O} 暖 房 設 備 \mathcal{O} 基 準 次 エ ネ ル ギ] 消 費 量 冷 房 設 備 \mathcal{O} 基 準 次 工 ネ ル ギ 消 費 量 機 械 換 気

2

ネ 設 備 ル ギ \mathcal{O} 基 消 準 費 次 量 工 及 ネ U そ ル ギ \mathcal{O} 他 消 費 次 工 量 ネ ル 照 ギ 明 設 消 備 費 \mathcal{O} 基 量 準 は 次 玉 土 工 ネ 交 通 ル ギ 大 臣 消 が 定 費 量 \Diamond る 給 方 湯 法 設 に ょ 備 り \mathcal{O} 算 基 準 出 す 次 る 工

3 で あ 第 る 場 条第 合 を 除 項 第二 <_ 。 号 は 口 (1)単 \mathcal{O} 住 位 宅 住 部 戸 \mathcal{O} 分 基 \mathcal{O} 潍 基 準 __ 次 次 工 ネ エ ル ネ ギ ル ギ] 消 費 消 費 量 量 \mathcal{O} 合 計 住 宅 上 共 部 用 分 部 \mathcal{O} 単 分 \mathcal{O} 位 基 住 準 戸 \mathcal{O} 次 数 工 が ネ

4 第 三 条 第 項 及 び 第 項 \mathcal{O} 規 定 は 前 項 \mathcal{O} 共 用 部 分 \mathcal{O} 基 準 次 工 ネ ル ギ 消 費 量 12 0 1 7 潍 用 す

複 合 建 築 物 \mathcal{O} 設 計 次 工 ネ ル ギ 消 費 量

る。

ル

ギ

消

費

量

کے

を

合

計

L

た

数

値

لح

す

る

 \mathcal{O}

کے

す

第 六 出 に ょ 条 L た Ŋ 住 算 第 宅 出 部 条 L 分 た 第 \mathcal{O} 非 設 住 項 第 計 宅 部 三 分 次 号 工 \mathcal{O} 口 ネ 設 (1)計 ル \mathcal{O} ギ 複 合 次 消 工 建 費 ネ 築 量 物 ル と ギ \mathcal{O} を] 設 合 消 計 計 費 量 次 L と た 工 数 第 ネ 値 兀 ル とす ギ 条 第 消 項 費 又 量 は は 第 第二 三 項 条 \mathcal{O} 規 第 定 12 項 ょ \mathcal{O} 1) 規 算 定

複 合 建 築 物 \mathcal{O} 基 準 次 工 ネ ル ギ] 消 費 量

第 七 出 に ょ 条 L た ŋ 住 算 第 宅 出 部 条 L 分 た 第 \mathcal{O} 非 基 住 項 準 第 宅 部 三 次 分 号 工 \mathcal{O} 口 ネ 基 (1)潍 ル \mathcal{O} 複 ギ 次 合 消 建 工 費 ネ 築 量 物 ル کے ギ \mathcal{O} を 基 合 消 準 計 費 量 次 L لح た 工 数 第 ネ 値 五 ル とす ギ 条 第 る。 消 項 費 又 量 は は 第 三 第 項 条 \mathcal{O} 規 第 定 に 項 ょ \mathcal{O} n 規 算 定

第 章 住 宅 事 業 建 築 主 \mathcal{O} 新 築 す る 戸 建 7 \mathcal{O} 住 宅 \mathcal{O} 工 ネ ル ギ 消 費 性 能 \mathcal{O} 層 \mathcal{O} 向 上 \mathcal{O} た 8

に 必 要 な 住 宅 \mathcal{O} 構 造 及 U 設 備 12 関 す る 基 進

住 宅 事 業 建 築 主 \mathcal{O} 新 築 す る 戸 建 7 \mathcal{O} 住 宅 \mathcal{O} 工 ネ ル ギ 消 費 性 能 \mathcal{O} 層 \mathcal{O} 向 上 \mathcal{O} た 8 に 必 要 な 住

宅 \mathcal{O} 構 造 及 び 設 備 に 関 す る 基 準

第 八 条 法 第 十 七 条 第 項 \mathcal{O} 経 済 産 業 省 令 玉 土 交 通 省 令 で 定 \Diamond る 基 準 は 次 \mathcal{O} 各 号 に 定 8 る 基 準 لح

す る た だ し、 玉 土 交 通 大 臣 が 工 ネ ル ギ 消 費 性 能 を 適 切 12 評 価 で きる 方 法 لح 認 8 る 方 法 に ょ 0 7 住

た 場 合 に お 1 て は ک \mathcal{O} 限 ŋ で な 1 宅

事

業

建

築

主

 \mathcal{O}

新

築

す

る

戸

建

て

 \mathcal{O}

住

宅

が

備

え

る

ベ

き

工 ネ

ル

ギ

消

費

性

能

を

有

す

るこ

لح

が

確

か

8

5

n

住 宅 事 業 建 築 主 が 平 成 \equiv 一 十 二 年 度 以 降 に 新 築 す る 戸 建 7 \mathcal{O} 住 宅 が 第 条 第 項 第 号 1 に 適

合 す る t \mathcal{O} で あ る こと。

設 住 計 宅 次 事 業 工 ネ 建 築 ル ギ 主 が 消 各 年 費 度 量 に \mathcal{O} 合 新 築 計 が す る 当 該 戸 建 年 度 7 12 \mathcal{O} 新 住 築 宅 す に 係 る る 第 戸 建 ___ 条 7 第 \mathcal{O} 住 項 宅 第 \mathcal{O} 住 号 宅 事 口 業 (1)建 \mathcal{O} 築 住 主 宅 基 部 準 分 \mathcal{O}

]

次 工 ネ ル ギ 消 費 量 床 面 積 設 備 等 \mathcal{O} 条 件 に ょ 1) 定 ま る 住 宅 事 業 建 築 主 \mathcal{O} 新 築 す る 戸 建 7 \mathcal{O}

住 宅 12 係 る 基 潍 لح な る 次 工 ネ ル ギ 1 消 費 量 を 1 う。 次 条 12 お 1 7 同 ľ \mathcal{O} 合 計 を 超 え な い

住 宅 事 業 建 築 主 基 準 次 エ ネ ル ギ] 消 量

第 九 条 住 宅 事 業 建 築 主 基 準 次 工 ネ ル ギ] 消 費 量 は 次 0 各 号 に 掲 げ る 住 宅 0) 区 分 に 応じ、 そ れ ぞ

れ

当 該 各 号 12 定 \Diamond る کے お り لح す

住 宅 事 業 建 築 主 が 平 成三十一 年 ・度ま で に 新 築す る 戸 建 て \mathcal{O} 住 宅 次 \mathcal{O} 式 に ょ り 算 出 L た 数 値

そ 0 数 値 に 小 ,数点以 下 位 未 満 \mathcal{O} 端 数 が あ るときは これ を 切 り 上 げ

 $\rm E_{ST}$ = $\{(E_{SH} + E_{SC} + E_{SV} + E_{SL} + E_{SW})\}$ $\times 0.9 + E_{M}$ $\times 10^{-3}$

本条に お いて、 E_{ST} E_{SH} E_{SC} E_{SV} E_{SL} $E_{\scriptscriptstyle SW}$ 及 び $E_{\mathtt{M}}$ は そ れ ぞ れ 次 \mathcal{O} 数 値 を 表 す

t

 \mathcal{O}

とす

 E_{ST} 住 宅 事 業 建 築 主 基 準 次 工 ネ ル ギ] 消 費 量 単 位 年 に 0 きギ ガ ジ ユ ル

 E_{SH} 第 五 条 第 項 \mathcal{O} 暖 房 設 備 \mathcal{O} 基 準 次 エ ネ ル ギ] 消 費 量 単 位 年 に 0 き メガ ジ ユ

ル

 E_{SC} 第 五 条 第 項 \mathcal{O} 冷 房 設 備 \mathcal{O} 基 準 次 工 ネ ル ギ 消 費 量 単 位 年 に 0 き メ ガ

ル

 $E_{\text{\tiny SV}}$ 第 五 条 第 項 \mathcal{O} 機 械 換 気 設 備 \mathcal{O} 基 潍 次 工 ネ ル ギ 消 費 量 単 位 年 に 0 きメ ガ

ジ ユ ル

 $E_{\text{SL}} \\$ 第 五. 条 第 項 \mathcal{O} 照 明 設 備 \mathcal{O} 基 準 次 工 ネ ル ギ] 消 費 量 単 位 年 に 0 き メ ガ ジ ユ

ル

 E_{SW} 第 五 条 第 項 0 給 湯 設 備 \mathcal{O} 基 準 次 エ ネ ル ギ] 消 費 量 単 位 年 に 0 きメガ ジ

ユ

ジ

ユ

ル

 E_{M} 第 五. 条 第 項 \mathcal{O} そ \mathcal{O} 他 次 工 ネ ル ギ 1 消 費 量 単 位 年 12 0 き メ ガ ジ ユ ル

住 宅 事 業 建 築 主 が 平 成 三 + -年 度 以 降 に 新 築 す る 戸 建 7 \mathcal{O} 住 宅 次 \mathcal{O} 式 12 ょ 1) 算 出 L た 数 値

そ \mathcal{O} 数 値 に 小 数 点 以 下 位 未 満 \mathcal{O} 端 数 が あ るとき は これ を 切 n 上 げ る。

 $E_{ST} =$ $\{(E_{SH} +$ $E_{SC}+$ $E_{SV} + E_{SL} + E_{SW}$ \times 0.85 + E_M} $\times 10^{-3}$

第 三 章 建 築 物 \mathcal{O} 工 ネ ル ギ 消 費 性 能 \mathcal{O} 向 上 \mathcal{O} 層 \mathcal{O} 促 進 \mathcal{O} た \Diamond 12 誘 導 す べ き 基

進

建 築 物 \mathcal{O} 工 ネ ル ギ 消 費 性 能 \mathcal{O} 向 上 \mathcal{O} 層 \mathcal{O} 促 進 \mathcal{O} た \Diamond 12 誘 導 す ベ き 基 準

第 + 条 法 第三 + 条 第 項 第 --- 号 \mathcal{O} 経 済 産 業 省 令 • 玉 土 交 通 省 令 で 定 8 る 基 準 は、 次 \mathcal{O} 各 号 に 掲 げ る

建 築 物 \mathcal{O} 区 分 に 応 \mathbb{C} そ れ ぞ れ 当 該 各 号 に 定 \Diamond る 基 潍 と す る。

倉 庫 非 住 観 宅 覧 建 築 場 物 卸 売 次 市 \mathcal{O} 場 1 及 火 び 葬 口 場 そ 非 住 \mathcal{O} 他 宅 部 工 ネ 分 ル \mathcal{O} 全 ギ 部 を \mathcal{O} 工 使 場 用 \mathcal{O} 状 畜 況 舎 に 関 自 L 動 て 車 کے 車 れ 庫 ら 12 自 類 転 す 車 駐 る 車 ŧ 場 \mathcal{O}

1 (1)に お 1 7 工 場 等 とい う。 \mathcal{O} 用 途 に 供 す る 場 合 12 あ 0 7 は、 口 に 適 合 す る t \mathcal{O} で あ る

7 非 住 宅 た だ 部 L 分 が 建 国 土 築 交 物 \mathcal{O} 通 工 大 ネ 臣 が ル ギ エ ネ 消 ル 費 ギ 性 消 能 費 \mathcal{O} 向 性 上 能 \mathcal{O} を 適 層 切 12 \mathcal{O} 評 促 進 価 で \mathcal{O} き た る \Diamond 方 に 法 誘 導 لح 認 す べ 8 き る 方 工 ネ 法 ル 12 ギ ょ 0

消 費 性 能 を 有 す ること が 確 か \Diamond 5 n た 場 合 に な 1 7 は \mathcal{O} 限 り で な 1

1 次 \mathcal{O} (1)又 は (2) \mathcal{O} 1 ず れ か に 適 合 すること。

(1)う。 冷 す \mathcal{O} \mathcal{O} 距 L る 屋 た 房 屋 離 以 玉 場 内 数 負 内 が 下 土 合 に 値 荷 周 \mathcal{O} 五 (1)交 空 応 囲 に が \mathcal{O} メ 及 通 空 U 間 大 合 あ び 7 間 0 用 計 を \vdash (2)臣 7 别 を 途 1 に が \mathcal{O} ル う 床 は 表 及 1 以 お 定 う。 内 12 び \Diamond 面 1 当 第 掲 積 以 7 る \mathcal{O} 該 げ 以 下 方 屋 同 \mathcal{O} 下 r. 法 合 る 条 非 (1)内 数 第 に 計 住 (1)及 \mathcal{O} 空 で 宅 値 及 び ょ (2)項 び V) 除 部 以 間 \mathcal{O} 分 下 第 (2)に 算 屋 L で 7 お 屋 内 出 \mathcal{O} に 号 得 各 あ お 根 L 積 1 周 る た 用 1 1 7 \mathcal{O} 开 た و ح ت 数 途 (1)て 同 直 空 非 U 間 値 \mathcal{O} \mathcal{O} 同 下 住 ľ 階 屋 地 宅 が 内 各 た 部 域 \mathcal{O} $\overline{}$ だ \mathcal{O} 屋 平 用 周 \mathcal{O} 階 分 L 途 を 年 内 开 区 \mathcal{O} $\widehat{\mathbb{T}}$ 空 及 分 屋 間 \mathcal{O} 外 U 間 非 空 場 内 熱 気) 以 住 等 地 周 間 に \mathcal{O} 負 荷 宅 下 囲 域 年 及 接 \mathcal{O} 部 空 用 間 び \mathcal{O} 単 す $\widehat{}$ 外 熱 区 分 に 間 る 途 を二 分 負 \mathcal{O} 年 気 壁 に 荷 に 地 床 間 供 に \mathcal{O} 応 以 接 す \mathcal{O} 域 中 面 \mathcal{O} る じ 合 上 積 暖 す \mathcal{O} 心 計 部 た \mathcal{O} 区 る \mathcal{O} 房 線 用 分 合 分 別 を 負 床 か を 計 表 各 途 荷 \mathcal{O} 5 と に 用 に で 及 直 水 除 除 途 供 1 75 上 平 撂 <

(2)た る す \mathcal{O} 物 る 区 屋 ŧ で 非 場 分 内 \mathcal{O} あ 住 合 12 を 周 0 宅 て、 応 に 部 进 1 う。 あ ľ 空 分 0 7 間 屋 \mathcal{O} 7 別 以 内 形 \mathcal{O} 下 は 表 年 周 状 間 (2)に 12 囲 応 空 当 撂 熱 に 該 げ U 負 お 間 た る 非 荷 1 \mathcal{O} 年 住 数 を 7 年 間 宅 値 屋 間 同 熱 部 U 以 内 熱 分 下 負 周 負 $\overline{}$ 12 で 荷 荷 囲 に 係 空 あ 干 \mathcal{O} デ る る 間 0 算 こと。 年 1 出 ル \mathcal{O} 間 て 床 に 建 熱 用 築 面 負 た 積 玉 物 1 だ 荷 土 る \mathcal{O} 非 合 交 七 べ し、 デ 計 き 通 住 ル 大 t 宅 非 で 住 建 除 臣 \mathcal{O} 部 築 لح 宅 L が 分 部 た 定 L 物 \mathcal{O} \mathcal{O} 分 数 \Diamond 7 形 を る 状 各 値 玉 方 を 用 が 土 以 法 交 涂 単 通 上 用 に 純 \mathcal{O} 屋 途 ょ 大 \mathcal{O} 化 内 用 1) 臣 及 L 算 周 途 び が た 用 に 批 出 認 建 空 築 供 域 L め

げ

る

数

値

を

各

用

途

 \mathcal{O}

屋

内

周

囲

空

間

 \mathcal{O}

床

面

に

ょ

n

加

重

均

L

た

数

値

以

下

で

あ

る

と

間 び 地 \mathcal{O} 域 年 間 \mathcal{O} 区 熱 分 負 荷 12 応 0) じ 合 計 た 別 を 表 各 用 に 掲 途 げ \mathcal{O} 屋 る 数 内 値 周 を 拼 各 空 用 間 途 \mathcal{O} 床 \mathcal{O} 屋 面 内 積 周 \mathcal{O} 合 拼 計 空 間 で 除 \mathcal{O} 床 L 7 面 積 得 た に ょ 数 値 ŋ 加 が 重 平 用 途 均 及

た数値以下であること。

ロ次の①又は②のいずれかに適合すること。

(1)準 能 \mathcal{O} 第 向 次 上 条 エ ネ 第 \mathcal{O} ル ギ 項 層 第 \mathcal{O} 消 促 号 イ 進 費 \mathcal{O} 量 た \mathcal{O} 床 非 \Diamond 住 12 面 宅 誘 積 部 獐 す 設 分 ベ \mathcal{O} 備 き 設 等 基 計 \mathcal{O} 準 条 لح 件 次 な に 工 る ょ ネ り ル 次 定 ギ] エ ま ネ る、 消 費 ル ギ 建 量 が、 築 物 消 費 非 \mathcal{O} 量 住 工 を ネ 宅 部 ル 1 う。 ギ 分 0 消 誘 以 費 下 導 基 同 性

じ

を

超

え

な

7

こと。

(2)<u>ک</u> 。 が 第 当 該 条 第 次 工 項 ネ 第 ル ギ 号] 口 消 \mathcal{O} 費 量 次 干 エ デ ネ ル ル ギ 建 築 物 消 \mathcal{O} 費 誘 量 導 干 基 デ 準 ル 建 次 築 工 物 ネ \mathcal{O} 設 ル ギ 計 消 次 費 工 量 ネ を ル 超 ギ え な 消 費 1 量

を 層 適 住 宅 切 \mathcal{O} 促 12 評 次 進 \mathcal{O} 価 \mathcal{O} 1 た で きる \Diamond 及 び に 方 誘 口 導 法 に کے す 適 べ 認 合 ける き \Diamond る エ ネ 方 Ł 法 ル \mathcal{O} で ギ に ょ あること。 消 0 て 費 性 住 宅 能 ただし、 を 部 有 分 す が ること 建 築 玉 土 物 交通 が \mathcal{O} 確 工 大 ネ か 臣 8 ル ギ 5 が 工 れ ネ た 消 場 費 ル ギ 合 性 に] 能 消 お \mathcal{O} 費 1 向 性 7 上 は 能 \mathcal{O}

イ 住宅部分が第一条第一項第二号イ(1)に適合すること。

0)

限

り

で

な

口 第 条 第 項 第二 号 口 (1) \mathcal{O} 住 宅 部 分 0 設 計 次 エ ネ ル ギ] 消 費 量 が 住宅 部 分 **の** 誘 基 準

次エネルギー消費量を超えないこと。

 \equiv 複 合 建 築 物 次 \mathcal{O} 1 又 は 口 \mathcal{O} () ず ħ か 12 適合す Ś ŧ \mathcal{O} で あること。

1 非 住 宅 部 分が 第 号 に . 定 8) る 基準 - に適 合 か つ、 住宅 部分が前号に定め る基準 12 適合する

کے

- ロ 次の(1)から(3)までに適合すること。
- (1) 非 住 宅 部 分 が 第 条 第 項 第 一号に · 定 め る基 準 に 適 合 か つ、 住宅部 分 が 同 項 第二 号イ

(1)及び口に適合すること。

- (2)基 準 第 次 条 第 工 ネ 項 ル 第三 ギ] 号 消 費 口 量 (1)を \mathcal{O} 超 複 合 え な 建 い 築 物 \mathcal{O} 設 計 次工 ネ ル ギ 消 費 量 が、 複 合建 築 物 \mathcal{O} 誘
- ③ 非住宅部分が第一号イに適合すること。

非 住 宅 部 分に 係 る 誘 導 基 準 次 工 ネ ル ギ] 消 費 量

第 + ギ 消 条 費 量 前 条 干 第 デ ル 建 号 築 口 物 (1) \mathcal{O} \mathcal{O} 誘 非 導 住 基 宅 部 準 分 \mathcal{O} 次 誘 工 ネ 導 基 ル 準 ギ 次 消 費 エ ネ 量 は ル ギ 次 \mathcal{O} 消 式 費 に 量 ょ 及 ŋ び 算 同 号 出 L 口 た (2)数 \mathcal{O} 値 次 (そ エ \mathcal{O} ネ 数 ル

値 に 小 数点 以 下 位 未 満 \mathcal{O} 端 数 が あ るときは、 これ を切 ŋ Ĺ 一げ る。 とする。

$$E_{ST} = \{ (E_{SAC} + E_{SV} + E_{SL} + E_{SW} + E_{SEV}) \times 0.8 + E_{M} \} \times 10^{-3}$$

ノ

導

0) 式 に お 1 て、 $E_{\text{ST}} \\$ E_{SAC} $E_{\text{\tiny SV}}$ $E_{\text{SL}} \\$ E_{SW} E_{SEV} 及 び E_{M} は そ れ ぞ れ 次 \mathcal{O} 数 値 を 表 す ŧ \mathcal{O} とする。

 E_{ST} 誘 導 基 準 次 工 ネ ル ギ 消 費 量 単 位 年 に 0 き ギ ガ ジ ユ] ル

 E_{SAC} 第三 一条第 項 \mathcal{O} 空 気 調 和 設 備 \mathcal{O} 基 準 次 工 ネ ル ギ 消 費 量 単 位 年 12 0 きメ ガ ジ

ユール)

 E_{SV} 第三 一条第 項 \mathcal{O} 空 気 調 和 設 備 以 外 \mathcal{O} 機 械 換 気 設 備 \mathcal{O} 基 準 次 エ ネ ル ギ 消 費 量 単 位

年につきメガジュール)

 E_{SL} 第三 条第 項 \mathcal{O} 照 明 設 備 \mathcal{O} 基 準 次 工 ネ ル ギ 消 費 量 単 位 年 に 0 き メ ガ ジ

ユ

]

,

ル

 E_{SW} 第三 条 第 項 \mathcal{O} 給 湯 設 備 \mathcal{O} 基 準 次 工 ネ ル ギ 消 費 量 単 位 年 に 0 き メ ガ ジ ユ]

ル

 E_{SEV} 第三 条 第 項 \mathcal{O} 昇 降 機 \mathcal{O} 基 準 次 工 ネ ル ギ 消 費 量 単 位 年 12 つ き メ ガ ジ ユ ル

 $E_{\mathtt{M}}$ 第三 条 第 項 \mathcal{O} そ \mathcal{O} 他 次 工 ネ ル ギ 消 費 量 単 位 年 に 0 き メ ガ ジ ユ

住 宅 部 分 \mathcal{O} 誘 導 基 潍 __ 次 工 ネ ル ギ 消 費 量

第

十 二 条 第 + 条 第 号 口 \mathcal{O} 住 宅 部 分 \mathcal{O} 誘 獐 基 準 次 工 ネ ル ギ 消 費 量 住 宅 部 分 \mathcal{O} 単 位 住 戸 \mathcal{O} 数 が

出 で L た あ 数 る 値 場 合 (そ に 0 限 数値 る。 に 及 小 数 び 点 次 以 項 下 \mathcal{O} 単 位 位 未 住 満 戸 \mathcal{O} \mathcal{O} 端 誘 数 導 が 基 あ 潍 るときは 次 工 ネ ル これ ギ を 消 切 費 り 量 上 は げ る。 次 \mathcal{O}) とする。 式 に ょ り

2

 $E_{ST} =$ $\{(E_{SH} + E_{SC} + E_{SV} + E_{SL} + E_{SW})\}$ $\times 0.9 + E_{M}$ $\times 10^{-3}$

0) 式 にお いて、 E_{ST} E_{SH} E_{SC} E_{SV} E_{SL} E_{SW} 及 び E_{M} は そ n ぞ れ 次 \mathcal{O} 数 値 を 表 す ŧ \mathcal{O}

 E_{ST} 誘 導 基 準 次 工 ネ ル ギ 消 費 量 単 位 年 に 0 き ギ ガ ジ ユ

 E_{SH} ル

ル

第

五.

条

第

項

 \mathcal{O}

暖

房

設

備

 \mathcal{O}

基

潍

次

工

ネ

ル

ギ

消

費

量

単

位

年

に

0

き

メ

ガ

ジ

ユ

ユ

]

 E_{SC} 第 五. 条 第 項 \mathcal{O} 冷 房 設 備 \mathcal{O} 基 準 次 工 ネ ル ギ 消 費 量 単 位 年 に 0 き メ ガ ジ

ル

 E_{SV} 第 五 条 第 項 \mathcal{O} 機 械 換 気 設 備 \mathcal{O} 基 準 次 エ ネ ル ギ 消 費 量 (単 位 年 に 0 きメ ガ ジ

ユ] ル

 E_{SL} 第 五. 条 第 項 \mathcal{O} 照 明 設 備 \mathcal{O} 基 準 次 工 ネ ル ギ 消 費 量 単 位 年 に 0 き メ ガ ジ ユ

ル

 E_{SW} 第 五. 条 第 項 \mathcal{O} 給 湯 設 備 \mathcal{O} 基 潍 次 工 ネ ル ギ 消 費 量 単 位 年 に 0 きメ ガ ジ ユ

ル

第 + 条 E_{M} 第 第 号 五. 条 口 第 \mathcal{O} 住 項 宅 部 \mathcal{O} 分 そ \mathcal{O} \mathcal{O} 誘 他 導 基 次 準 工 ネ 次 ル ギ 工 ネ 消 ル ギ 費 量 消 単 費 量 位 住 宅 年 部 に 分 0 き \mathcal{O} メ 単 ガ 位 ジ 住 戸 ユ \mathcal{O} 数 ル が で あ

る 場 合 「 を 除 は 単 位 住 戸 \mathcal{O} 誘 導 基 準 次 工 ネ ル ギ 消 費 量 \mathcal{O} 合計 لح 共 用 部 分 \mathcal{O} 誘 導 基 準 次

]

工 ネ ル ギ] 消 費 量 とを合 計 L た 数 値 とす る。 。

3 お 1 前 て、 条 \mathcal{O} 同 規 条 定 中 は $\lceil E_{ST} =$ 前 項 $\{(E_{SAC}+E_{SV}+E_{SL}+$ \mathcal{O} 共 用 部 分 \mathcal{O} 誘導 $E_{SW}+$ 基 準 $-E_{SEV}$) 次 工 X 0 ネ ∞ ル $+ E_{M}$ ギ] 消 $\times~10^{-3}$ J 費 量 12 と 0 あ 1 て る 準 \mathcal{O} は 用 す $^{\mathsf{L}}_{\mathsf{ST}} =$ る。 。 この $\{(E_{SAC}+E_{SV})\}$ 場 合

 $+ E_{SL} + E_{SW} + E_{SEV}$ $\times 0.9 + E_{M}$ $\times 10^{-3}$ J とする

複 合 建 築 物 \mathcal{O} 誘 導 基 準 次 エ ネル ギ] 消 費 量

第 十三 り L た 算 住 条 出 宅 L 部 た 第 + 分 非 条 住 \mathcal{O} 宅 第 誘 導 三 部 基 号 分 準 \mathcal{O} 口 (2)誘 次 導 \mathcal{O} 基 複 工 ネ 合 準 建 ル ギ 次 築 工 物 消 ネ \mathcal{O} 費 誘 ル 量 ギ 導 とを・ 基 1 準 消 合 費 計 量 次 と L 工 た 前 ネ 数 条 ル 値 ギ 第 とす 項 消 又 費 は 量 第 は、 項 第 + \mathcal{O} 規 定 条 に \mathcal{O} ょ 規 り 定 算 に 出 ょ

]

附 則

施 行 期 日

第 条 \mathcal{O} 省 令 は、 法 \mathcal{O} 施 行 \mathcal{O} 日 平 成 二十 凣 年 兀 月 日) か 5 施 行 す る。

経 過 措 置

第二 が 政 庁 木 難 が 法 で 地 第 あ 域 + る \mathcal{O} 気 九 認 条 候 \Diamond 及 第 る び 風 項 ŧ \mathcal{O} 土 \mathcal{O} に 規 に 応 定 0 ľ に 1 て、 た ょ 住 る 同 宅 届 号 で 出 あ に \mathcal{O} 規 係 ること 定 る を 住 に 適 宅 用 ょ で す あ り る 第 0 場 て、 合に 条 第 法 お 第二 項 1 第 て 条 は、 第 号 五 当 1 号 分 に 12 適 規 \mathcal{O} 間 定 合 さ す せ る 同 号 る 所 1 管 0) 行

規

定

は

適

用

L

な

\ \ \

する。 $_{
m SV}+E_{
m SL}+E_{
m SW}+E_{
m SEV})$ $imes 0.8+E_{
m M}
ightarrow 10^{-3}$ 」とあるのは「 $E_{
m ST}=$ $(E_{
m SAC}+E_{
m SV}+E_{
m SL}+E_{
m SW}+E_{
m SEV}+E_{
m M}) <math> imes 10^{-3}$ 」と 適 とあるのは 用する場 この省令 一合に $\lceil E_{ST} = \{ (E_{SAC} + E_{SV} + E_{SL} + E_{SW} + E_{SEV}) \times 1.1 + E_M \} \times 10^{-3}$ 」と、第十一条中 $\lceil E_{ST} = \{ (E_{SAC} + E_{SV} \}$ お 0 施 \ \ ては、 行 の際現に存する建築物 当分の間、 第三条第一 の非住宅部分について、第三条及び第十一条の規定を 項中「 E_{ST} = ($E_{SAC}+E_{SV}+E_{SL}+E_{SW}+E_{SEV}+E_{M}$) ×10⁻³

2 合にお この省令 いては、 0 施 当 分 行 の際 0 間、 現に存する建 同号イの 築物 規定は、 0) 非 適 住 宅部 用 L な 分について、 第十条第一号の規定を適 用す んる場

第四条 は る場合に 用する場合にお あ \mathcal{O} $\lceil E_{ST} = \{ (E_{SH} + E_{SC} + E_{SV} + E_{SL} + E_{SW}) \times 0.9 + E_{M} \} \times 10^{-3}$ 」とあるのは ×10⁻³」と、同条第二項中「E_{ST}={(E_{SAC}+E_{SV}+E_{SL}+E_{SW}+E_{SEV}) る は のは、 0) 準用する。この場合において、同条第一項中「 E_{ST} =(E_{SAC} + E_{SV} + E_{SL} + E_{SW} + E_{SEV} + E_{M})×10-3」と 「Esr={(EsH+Esc+Esv+EsL+Esw) ×1.1+EM}×10-3」と、同条第四項中「準用する。」とあるの この省令 省 令 お 7 \mathcal{O} $\lceil E_{ST} = \{(E_{SAC} + E_{SV} + E_{SL} + E_{SW} + E_{SEV}) \times 1.1 + E_{M} \} \times 10^{-3} \rfloor$ とする。」と、第十二条第一項 て 施 は、 いて 行 0) 施 0 当分の間、 は、 行 際 現 0) 際 (C 同 号 存する建 現に存す 口 第五 (1) (こ 築物 条第一項中「 E_{ST} = $(E_{SH}+E_{SC}+E_{SV}+E_{SL}+E_{SW}+E_{M})$ $\times 10^{-3}$ 」とある る建築物 適合する場合に限り、当分の間 0) 住 宅部分について、第五 の住宅部分について、第一条第一項第二号の規定を適 $\times 0.9 + E_{M} \times 10^{-3}$] とあるのは $[E_{ST} = (E_{SH} + E_{SC} + E_{SV} + E_{SL} + E_{SW} + E_{M})$ 条及び第十二条 同号イ 0 規定 は、 \mathcal{O} 規定を適 適 用 L 用 な 中 す

2

 $=(E_{SAC}+E_{SV}+E_{SL}+E_{SW}+E_{SEV}+E_{M})$ ×10 $^{-3}$ 」 とする。

3 においては、 この省令の施行の際現に存する建築物の住宅部分について、 当分の間、 同号イの規定は、 適用しない。 第十条第二号の規定を適用する場合

別表 (第十条関係)

	用途		地域の区分	分						
			1	2	3	4	5	6	7	8
(1)	事務所等		480	480	480	470	470	470	450	570
(2)	ホテル	客室部	650	650	650	500	500	500	510	670
	等	宴会場部	990	990	990	1260	1260	1260	1470	2220
(3)	病院等	病室部	900	900	900	830	830	830	800	980
		非病室部	460	460	460	450	450	450	440	650
(4)	百貨店等		640	640	640	720	720	720	810	1290
(5)	学校等		420	420	420	470	470	470	500	630
(6)	飲食店等		710	710	710	820	820	820	900	1430
(7)	集会所	図書館等	590	590	590	580	580	580	550	650

	-
映画館等	体育館等
1490	790
1490	790
1490	790
1510	910
1510	910
1510	910
1510	910
2090	1000

補光

 \mathcal{C}^{+}

のをいう

- 単位は、1平方メートル1年につきメガジュールとする。
- 0 「事務所等」とは、事務所、官公署その他エネルギーの使用の状況に関してこれらに類する
- ω のをいう。 「ホテル等」 とな、 ホテル、 旅館その他エネルギーの使用の状況に関してこれらに類するも
- 4 かって 「病院等」とは、病院、老人ホーム、 に類する Œ のをいう。 福祉ホームその他エネルギーの使用の状況に関してこ
- するものをいう。 퍼 7皿 五 半 \sim Ĩ, 뻐 . 加 江、 マーケットその他エネルギーの使用の状況に関してこれら に類

 Ω

- 0 核、 「学校等」とは、小学校、中学校、 各種学校その他エネルギーの使用の状況に関 義務教育学校、高等学校、大学、 してこれらに類するものをいう。 高等専門学校、 専修学
- してこれらに類するものをいう。 「飲食店 半 とない 飲食店 食堂、 喫茶店、キャバレーその他エネルギーの使用の状況に関

~1

の他エネルギーの使用の状況に関してこれらに類するものをいう。 てこれらに類するものをいい、「映画館等」とは、映画館、カラオケボックス、ぱちんこ屋そ Œ 場、スケート場、公衆浴場、競馬場又は競輪場、社寺その他エネルギーの使用の状況に関 のをいい、「体育館等」とは、体育館、公会堂、 $\overline{\mathbb{X}}$ 書館等」とは、図書館、博物館その他エネルギーの使用の状況に関してこれらに類する 集会 揚、ボーリング場、劇場、ア スレチッ

 ∞